

平成 20 年 12 月期

第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 5 月 12 日

上場会社名 コスモ・バイオ株式会社
 コード番号 3386
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

上場取引所 JQ
 URL <http://www.cosmobio.co.jp/>
 (氏名) 原田 正憲
 (氏名) 田中 知 TEL (03) 5632-9600

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 12 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 12 月期第 1 四半期	1,769	(△1.8)	271	(△15.8)	294	(0.0)	161	(△4.1)
19 年 12 月期第 1 四半期	1,801	(—)	322	(—)	294	(—)	168	(—)
19 年 12 月期	5,906	—	583	—	475	—	243	—

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 12 月期第 1 四半期	2,665	03	—	—
19 年 12 月期第 1 四半期	2,791	27	2,783	28
19 年 12 月期	4,030	17	4,024	50

(注) 平成 19 年 12 月期中に新株予約権はすべて行使され、平成 20 年 12 月期において潜在株式は存在いたしません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
20 年 12 月期第 1 四半期	5,409		4,286		79.2	70,876	41
19 年 12 月期第 1 四半期	5,357		4,256		79.4	70,670	20
19 年 12 月期	5,302		4,350		82.1	71,929	19

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金 同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 12 月期第 1 四半期	66	160	△151	792
19 年 12 月期第 1 四半期	△109	239	△150	522
19 年 12 月期	392	△71	△141	719

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金	
	第 1 四半期末	
	円	銭
20 年 12 月期第 1 四半期	—	—
19 年 12 月期第 1 四半期	—	—

3. 平成 20 年 12 月期の連結業績予想 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 12 月 31 日) 【参考】
(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	3,020	△2.8	206	△52.1	191	△49.2	89	△56.0	1,472	40
通期	5,786	△2.0	300	△48.6	277	△41.7	154	△36.6	2,548	30

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 [(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が本資料の発表日時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は今後様々な変動等により、記載の予想とは異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期における当社を取り巻く環境につきましては、民間企業では引き続き堅調な研究開発が進められておりますが、大学関係では予算執行等の強い引き締めの動きが続いており、バイオ研究支援市場全体としては前年に引き続き弱い動向でありました。一方で為替は当第 1 四半期平均で 106 円／ドル強（当期計画 113 円／ドル）と円高傾向で推移いたしました。

このような環境下、当社は販売面におきましては、従来当社主力であった日本ミリポア社商品の販売ルート変更による落ち込みは大きかったものの、大学・企業関係の年度末需要に向けて販売促進に努め、売上高は計画を上回る 1,769 百万円（前年同期比 1.8%減）となりました。なお 2006 年 12 月に子会社化した株式会社プライマリーセルの売上高はほぼ計画通りでありました。

仕入面におきましては、為替が円高傾向で推移したことを主因に、売上総利益額は計画を上回る 687 百万円（前年同期比 6.0%減）、売上総利益率は 38.8%となりました。販売管理費等の費用面につきましてはおおむね計画通りに推移し、営業利益は計画を上回る 271 百万円（前年同期比 15.8%減）となりました。

営業外損益につきましては、為替が円高傾向で推移したことによる為替差益及び昨年 12 月に持ち分法適用関連会社としましたビーエム機器株式会社の持ち分法投資利益を主因に営業外利益は 59 百万円となった一方、棚卸資産廃棄損等を主因に営業外損失は 36 百万円となりました。その結果、経常利益は計画を上回る 294 百万円（前年同期比 0.0%増）となりました。

特別損益につきましては大きな動きはなく、四半期純利益は計画を上回る 161 百万円（前年同期比 4.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第 1 四半期の流動資産は、大学・企業関連の年度末需要により売上が高水準となる時期のため、売上債権（受取手形及び売掛金）の増加を主因に、前連結会計年度末に比べ 82 百万円増加して 3,805 百万円（前連結会計年度末 3,723 百万円）となりました。

固定資産につきましては大きな動きはなく、前連結会計年度末に比べ 25 百万円増加して 1,604 百万円（前連結会計年度末 1,578 百万円）となりました。

以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べ 107 百万円増加して 5,409 百万円（前連結会計年度末 5,302 百万円）となりました。

負債合計は、円高傾向のためヘッジ会計を適用した為替予約負債が増加したこと及び未払法人税等の増加等を主因に、前連結会計年度末に比べ 171 百万円増加して 1,123 百万円（前連結会計年度末 951 百万円）となりました。

純資産合計は、円高傾向のためヘッジ会計を適用した為替換算調整勘定が 65 百万円の減少となったことを主因に、前連結会計年度末に比べ 63 百万円減少して 4,286 百万円（前連結会計年度末 4,350 百万円）となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは 66 百万円の収入となりました。これは主に、税引前四半期純利益が 294 百万円となったことによる収入に対し、売上の増加による売上債権の増加（240 百万円）及び法人税の支払（83 百万円）等の支出があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは 160 百万円の収入となりました。これは主に資金運用を行っていた有価証券が償還を迎えたことによる収入（200 百万円）によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、151 百万円の支出となりました。

上記の結果、当第 1 四半期における現金及び現金同等物は、792 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、前回（平成 20 年 2 月 14 日発表「平成 19 年 12 月期 決算短信」に記載しております。）の業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・ たな卸資産の計上基準は、実地たな卸は行わず、帳簿たな卸残高を計上しております。
- ・ 税効果会計及び法人税等の計上基準において簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成19年12月期 第1四半期末	当四半期末 平成20年12月期 第1四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	522	692	170		618
2. 受取手形及び売掛金	2,276	2,088	△188		1,845
3. 有価証券	851	500	△350		700
4. たな卸資産	542	480	△61		505
5. その他	72	44	△28		53
貸倒引当金	△0	△0	0		△0
流動資産合計	4,264	3,805	△458	△10.8	3,723
II 固定資産					
1. 有形固定資産	58	63	5		60
2. 無形固定資産	424	378	△45		391
(1) のれん	406	358	△47		370
(2) その他	18	20	1		20
3. 投資その他の資産	610	1,161	550		1,126
(1) 投資有価証券	263	600	337		587
(2) 関係会社株式	11	291	280		301
(3) その他	336	269	△67		237
固定資産合計	1,093	1,604	510	46.7	1,578
資産合計	5,357	5,409	51	1.0	5,302
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	589	503	△86		513
2. 短期借入金	20	20	—		20
3. 未払金	79	107	27		60
4. 未払法人税等	132	136	4		88
5. その他	94	65	△29		53
流動負債合計	916	832	△83	△9.1	736
II 固定負債					
1. 退職給付引当金	118	134	16		130
2. 役員退職慰労引当金	67	78	11		79
3. その他	0	77	76		5
固定負債合計	185	290	104	56.4	215
負債合計	1,101	1,123	21	1.9	951
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	913	918	4		918
2. 資本剰余金	1,217	1,221	4		1,221
3. 利益剰余金	2,124	2,209	85		2,199
株主資本合計	4,255	4,349	93	2.2	4,339
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券 評価換算差額	0	2	1		4
2. 繰延ヘッジ損益	—	△65	△65	—	6
評価・換算差額等合計	0	△63	△63	—	10
純資産合計	4,256	4,286	30	0.7	4,350
負債、純資産合計	5,357	5,409	51	1.0	5,302

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成 19 年 12 月期 第 1 四半期	当四半期 平成 20 年 12 月期 第 1 四半期	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 12 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	1,801	1,769	△31	△1.8	5,906
II 売上原価	1,070	1,082	11	1.1	3,650
売上総利益	731	687	△43	△6.0	2,256
III 販売費及び 一般管理費	408	416	7	1.7	1,672
営業利益	322	271	△50	△15.8	583
IV 営業外収益	6	59	52	787.7	19
V 営業外費用	34	36	1	4.3	127
経常利益	294	294	0	0.0	475
VI 特別利益	2	0	△2	△98.5	18
VII 特別損失	0	—	△0	△100.0	4
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	297	294	△2	△0.9	488
法人税、住民税及び 事業税	128	133	4	3.2	250
法人税等調整額	—	0	0	—	△5
四半期 (当期) 純利益	168	161	△6	△4.1	243

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前年同四半期 平成 19 年 12 月期 第 1 四半期	当四半期 平成 20 年 12 月期 第 1 四半期	(参考) 前期 (平成 19 年 12 月期)
	金額		
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期純利益	297	294	488
減価償却費	5	8	29
のれん償却額	9	9	47
デリバティブ評価損益 (△は益)	13	7	50
貸倒引当金増減額 (△は減少)	△0	0	△0
役員退職慰労引当金増減額 (△は減少)	△8	△1	4
退職給付引当金増減額 (△は減少)	1	4	13
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	—	△13
受取利息及び受取配当金	△1	△2	△8
持分法による投資利益 (△は増加)	—	△14	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△319	△240	111
たな卸資産増減額 (△は増加)	△40	24	△4
仕入債務の増減額 (△は減少)	81	△10	5
未払金の増減額 (△は減少)	△43	50	△49
その他	29	△5	△5
小計	13	123	671
利息及び配当金の受取額	2	25	8
利息の支払額	△0	△0	△0
法人税等の支払額	△125	△83	△287
営業活動によるキャッシュ・フロー	△109	66	392
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
貸付金の回収による収入	99	—	99
有価証券の取得による支出	—	—	△199
有価証券の売却・償還による収入	200	200	850
投資有価証券の取得による支出	△59	△25	△490
投資有価証券の売却による収入	—	3	10
関係会社株式の取得による支出	—	—	△290
有形固定資産の取得による支出	△1	△8	△43
その他	0	△10	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	239	160	△71
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
株式の発行による収入	—	—	8
配当金支払額	△150	△151	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△150	△151	△141
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△1	0
V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17	73	179
VI 現金及び現金同等物の期首残高	539	719	539
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	522	792	719